

## 刈羽村勝山地区の3級水準点が示す地盤変動

原発反対刈羽村を守る会  
原発反対地元三団体

刈羽村を守る会は、刈羽村役場と大字滝谷・寺尾・西元寺区長の了解を得て、10年程前に下水道事業実施に際して刈羽村が設置した3級水準点の水準測量を10月4日に実施した。

水準測量の結果、水準点は大きく隆起・沈降（相対隆起最大40cm、沈降50cm）していた。

刈羽村を守る会の測量結果は、産総研の海岸隆起の報告や国土地理院の一等水準点の測量結果や、人工衛星の観測結果と調和的である。

下水道事業で設置された3級水準点は必ずしも良好な地盤上ではないが、大きな地殻変動と、原発敷地を縦断する真殿坂断層の活動を示唆する結果が得られた。

原発敷地の南西の荒浜において、一等水準点(4462)が3.22cm沈降し(国土地理院観測)その100m西の荒浜漁港で10cmの隆起(産総研測定)があった事実がある。

今回、原発敷地の北東の滝谷・寺尾・西元寺で3級水準点の大きな隆起と沈降が測定された。

原発敷地が大きく波打つ様子は地震直後に確認されている。

こうした事実を、国も東京電力も2ヶ月半放置し、修繕工事の名目で証拠隠滅をしている事は容認できない。

新潟県や柏崎市・刈羽村が、水準点観測を実施することで、地殻変動が容易に把握可能である。

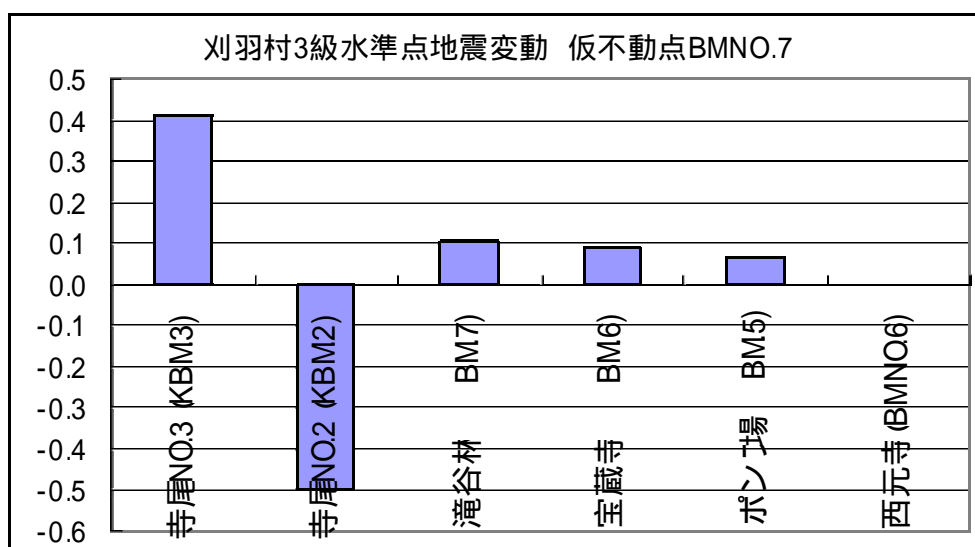
## 測定結果

単位は m 仮不動 BMNo.6

| 水準点 NO          | 従前標高   | 10.04 仮標高 | 差      | 備考 |
|-----------------|--------|-----------|--------|----|
| 寺尾 NO.3 (KBM.3) | 22.372 | 22.782    | 0.410  |    |
| 寺尾 NO.2 (KBM.2) | 19.398 | 18.899    | -0.499 |    |
| 滝谷林 (BM.7)      | 12.386 | 12.494    | 0.108  |    |
| 宝蔵寺 (BM.6)      | 13.576 | 13.667    | 0.091  |    |
| ポンプ場 (BM.5)     | 14.205 | 14.271    | 0.066  |    |
| 西元寺 (BMNO.6)    | 12.529 | 12.529    | 0.000  |    |

従前標高は下水道事業実施時

仮標高は中越沖地震後(2007.10.04)



# 刈羽村集落排水3級水準点 配置図



破線は真殿坂断層⇒